

平成 28 年 3 月期 決算説明会
主な Q & A

- Q1 : A T M の平均利用件数が減少傾向であるが、その要因は。
背景にマイナス金利政策の影響があるのか。
- A1 : 最近の平均利用件数の落ち込みについてはいろいろな分析をしております。複合的な要因があると思われませんが、2 月、3 月の利用件数の減少については、それ以前の要因だけでは説明ができません。マイナス金利等の影響で消費マインドが冷えこみ、A T M を利用する機会も減っていると考えられます。
このような状況の中でも、利用件数を上げる努力の余地は大きいと思っております。今までは、総利用件数を伸ばすことを念頭に台数増加に力を入れてきました。今後は、同時に平均利用件数を上げていく施策にも傾注してまいります。
- Q2 : グループ外 A T M の設置計画が以前と比較し消極的だが。
- A2 : 従来はインバウンドでの A T M 需要も大きく、積極的にグループ外 A T M の設置を推進してきました。その中で一部の A T M が想定した利用件数に満たないこともあるため、現在は 1 台 1 台の状況等を確認しながら利用件数の増加を図っております。今後、新規に設置する A T M についても、しっかりと収益が取れるように設置していく方針であります。
- Q3 : デビット付きキャッシュカードの発行が計画されているが、その狙いは。
セブン&アイグループとして金融サービスが変わっていく可能性があるのか。
- A3 : セブン&アイグループではセブン・フィナンシャルサービスがクレジットカードや nanaco という電子マネーを発行しております。
今回当社が提供するデビットサービスは、銀行口座から即時に出金し行う決済手段です。一方、セブン・フィナンシャルが提供しているサービスは後払いとなるクレジット機能、及びチャージした金額の範囲内で行う決済手段です。
グループ企業それぞれが、お客さまの多様なニーズにあわせた決済手段を提供し、安心・便利にご利用いただける環境を整えていくことが大切だと考えております。
- Q4 : 北米 FCTI の SEI への設置が 2017 年 7 月より前倒しになることはあるのか。
- A4 : 現状では、設置が年内に早まることはないと思います。2017 年 7 月が設置開始の期限ですので、それ以降ということもございません。
早期に設置開始した場合のメリットは、設置作業の負担を分散化できることです。来年の 7 月以降に置き始めて、半年ぐらいで終わるように準備を進めています。それほど無理のない計画ですので、あまり無理して設置を前倒しするような交渉はしておりません。

以上